

(2009. 7. 31)

発行：島根大学男女共同参画推進室（さぼっと SU-PPOT）

---

本日は定期試験の最終日です。学生たちにとって楽しい夏休みまでもうすぐですね。教職員の皆様は、仕事と休みのバランスをとりながら、天候不順が続く今年の夏を乗り切ってください。

☆今号の目次

1. 男女共同参画推進室（さぼっと）新室長の挨拶
  2. ジェンダーを考える会（島根大学・松江市 共催）が開かれました。
  3. 講演会「自治医科大学における女性医師支援の試みと職場環境整備・意識改革」が開かれました。
  4. 「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）との連携による女子高生理系進路選択支援事業 —キャリア&ライフデザイン教育—」を行いました。
  5. 連載コラム「育児するお父さんへのエール」第5回  
育児休業体験談（その3） 門脇正行
- 

☆ 男女共同参画推進室（さぼっと）新室長の挨拶

---

4月1日から6月30日まで男女共同参画推進室（さぼっと）室長を兼務してきた柴田均理事／学術国際担当副学長に代わり、7月1日付で澤アツ子氏（前財団法人21世紀職業財団島根事務所長、前島根大学男女共同参画推進室客員教授）が、専任の新室長／教授として着任しました。

【就任の挨拶】

男女共同参画推進室長 澤 アツ子

平成21年7月1日付けで、島根大学男女共同参画推進室教授兼同室長を拝命いたしました。どうぞ、よろしく願いいたします。

男女共同参画推進室は、学内の皆様が性別にかかわらず研究・仕事(ワーク)と生活(ライフ)を両立させ、キャリアを継続していくために、HPの更新や月刊のメールマガジン「さぼっと通信」等を通しての情報提供、講演会、セミナー等の開催、室及び本学医学部附属病院女性スタッフ支援室への支援カウンセラーの配置等を行っています。

研究室の環境づくりや意識改革を進めていくためには、皆様のご理解とご協力を得なければなりません。全学の皆様に室の事業に関心を持ちながら、関わっていただくことが大切です。事業に対するご意見や要望等をお聞きし、ひとつひとつの積み重ねにより、全学を挙げた取り組みを進めてまいります。

---

☆ ジェンダーを考える会（島根大学・松江市 共催）が開かれました。

---

6月19日、法文学部社会文化学科・東洋史学専攻学生の発案・企画・運営により「ジェンダーを考える会」がスティックビルで開かれました。講師として、丸橋充拓先生・渋谷聡先生・佐々木愛先生に加えて、松江市男女共同参画課松本忍主幹をお招きし、「子育て」や「ジェンダー」をテーマに学びを深めました。

詳細は、さぼっとの以下のページをご覧ください。

[http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/gender/event/H21-07-13\\_2/](http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/gender/event/H21-07-13_2/)

---

☆ 講演会「自治医科大学における女性医師支援の試みと職場環境整備・意識改革」が開かれました。

---

6月29日（月）、医学部附属病院女性スタッフ支援室（さぼっと後援）による講演会「自治医科大学における女性医師支援の試みと職場環境整備・意識改革」が、出雲キャンパスで開かれました。特別講演者として招かれた自治医科大学女性医師支援センター副センター長の湯村和子教授が、同大学における女性医療職の就労継続支援事業を報告され、事業の必要性を強く訴えられました。島根県健康福祉部医療対策課の職員の方々を含む35名の参加者があり、盛会のうちに終わりました。

詳細は、さぼっとの以下のページをご覧ください。

[http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/gender/event/H21-07-15\\_1/](http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/gender/event/H21-07-15_1/)

---

☆ 「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）との連携による女子高生理系進路選択支援事業 ―キャリア&ライフデザイン教育―」を行いました。

---

7月3日（金）、さぼっとと女性スタッフ支援室の共催事業として、島根大学医学部を訪問した島根県内のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業指定校の一つである県立益田高等学校の1年生24名を対象に、「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）との連携による女子高生理系進路選択支援事業 ―キャリア&ライフデザイン教育―」が行われました。本事業では、医学部職員・学生アンケート『女性医療職の就労継続』に関する意識調査の結果と分析、および本学で推進中の女性医療職・研究者支援事業を紹介したあとに、理系女性研究者のロールモデルを描いたDVD「大学で研究するということ：大学院（生物系）編」（さぼっと作成）を上映しました。

詳細は、さぼっとの以下のページをご覧ください。

[http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/gender/event/H21-07-24\\_1/](http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/gender/event/H21-07-24_1/)

---

☆ 連載コラム「育児するお父さんへのエール」(5)

---

育児休業体験談（その3）

門脇正行（生物資源科学部助教）

育休を取ることを周りの人に話すと、「育児に理解があるのねえ」とよく言われましたが、別に理解があるわけではありません。子どもも含め家族のことを考えた結果、取ろうと決めただけです。また、「お父さんと一緒に良いわねえ」とよく子どもに話しかけられました。これもどうでしょうか？確かに男性が育児休業を取るのは珍しいことではありますから、うちの子どもは他の多くの子が経験してない生活を送ったと思います。・・・

続きは、さぼっとの以下のページをご覧ください。

<http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/gender/record/child-men/kadowaki/03/>

\*ほかにも男性教職員のなかで、自分の経験や思いを共有したい、紹介したい、という方がいらっしゃいましたら、さぼっとまで、メールか電話でご連絡いただければ幸甚です。

---

このメールマガジンに関するご質問・ご意見は

kyodo-sankaku@edu.shimane-u.ac.jp までお願いします。

---

★ お願い ★

このメールマガジンは、島根大学の構成員全員にお伝えしたい内容を掲載しております。allstaff宛のアドレスにお送りしていますが、学部によっては講座の代表者の方にしか届かない設定がされているところがあるようです。そのような設定の講座等におかれましては、代表の方が講座内のスタッフ 全員に転送・配信下さいますようお願いいたします。また、PC環境にないスタッフがおられる講座等では、大変お手数ですが、プリントアウトして回覧していただければ幸甚です。

---